



七夕協会が発行する“みんなで世界をより良くする”ための情報誌

TANABATA REPORT BOOK

Vol.1（創刊号）

特集：TANABATA DREAM AWARD 2020



はじめに

なぜ今、七夕なのか？

私たちは、とても豊かな日本で生まれました。

着る服にも、困らない。

食べ物にも、困らない。

住まいにも、困らない。

しかし、いつになっても満足することなく
多くの人が、何かが足りないと、
それを探しながら今を生きています。

心は、いつまでも満たされないでいます。

心は、どうしたら満たされるのでしょうか？

私たちはいま、混迷を極め、
先行きの見えない時代を生きています。

だからこそ、そういう時代に最も必要なのは

「なんのために生まれて、何をして生きるのか？」

「なにが君のしあわせで、何が君のよろこびか？」

という根本的な問いに、真正面から向き合い、見失っている
本心と人生の指針を取り戻し、今を生きることが重要なのです。

七夕には、この問題を解決する不思議な力が備わっています。

老若男女が、義務なく、教育なく、自然と集まり、
みんなが、短冊に、夢や願い事を込めて自由に描きます。

この短冊に描かれていることにこそ、私たちは、向き合い、喜びに変えるべきなのではない
でしょうか？

七夕を機会に「みんなが、夢を持ち、夢を知り、夢を守り合う」
そんな心境・環境を、みんなで取り戻すことが今大切なのです。

七夕協会について

理事の紹介



小磯 卓也（こいそ・たくや） — 代表理事

栃木県出身。大学卒業後、総合通販「ネットプライス」に入社。自社・提携サイトのECサイトを20社以上のマーケティング・コンサルティングの経験を経て、2008年子会社「デファクトスタンダード」にてブランド品の宅配買取「Brandear」の創業メンバーとしてマーケティング全般（テレビ、新聞、ラジオ、インターネット）に携わる。2015年、マーケティング支援会社「Personal Marketing」を設立し、六本木アカデミーヒルズ、マーケティングブレイクスルー大学、企業、学生、経営者などに、マーケティングの情報・知識・智慧を提供し続けています。その他、2016年、世界をより良くするために「一般社団法人七夕協会」、日本の伝統・精神を支援するために「Japanese Tradition」を設立。将来の夢は、やなせたかし先生、稲盛和夫先生のような哲学者・経営者になること。



星山 真理子（ほしやま・まりこ） — 理事

宮城県仙台市出身。株式会社ドラムカフェジャパン 代表取締役。非営利活動法人ドラムカフェ 理事長。本社代表が仙台に来日した際の通訳を担当。その時に「日本でドラムカフェジャパン」をやって欲しい、今の日本にはこの会社が必要だ！と懇願されて、翌月にドラムカフェ本社がある南アフリカ共和国を訪問。その時、皆でドラムを叩くだけで幸せな気分になれ、自然と湧き上がる一体感のおかげで、本社の社員の方とも直に打ち解ける事が出来た。ドラムカフェの双方向ドラミングセッションを通じて「みんながつながり、ワクワクする。」社会を目指したいと思い、起業に至る。



小林こず恵（こばやし・こずえ） — 理事

「ひとつの言葉が世界を変える。言葉ひとつで人生が変わる」を信じて、言葉を生み出す仕事をして生きています。また、言語化のお手伝いを通じ、誰もが自分らしく自然体で生きることを応援しています。群馬県出身・東京都 在住。大学卒業後、フリーの編集・ライターを経て、KADOKAWAにてエンタメ事業に携わる。その後、2018年7月に独立。「ひと・もの・ことを絡めて、新しい価値を想像すること」をミッションに、メディアのディレクション・コンテンツ制作などを行う株式会社カラメルを設立。またストーリーテラーとして、インタビュー・ストーリー制作・ワークショップなどを行う。将来の夢は、誰もが自分の人生にワクワクできる社会の実現。

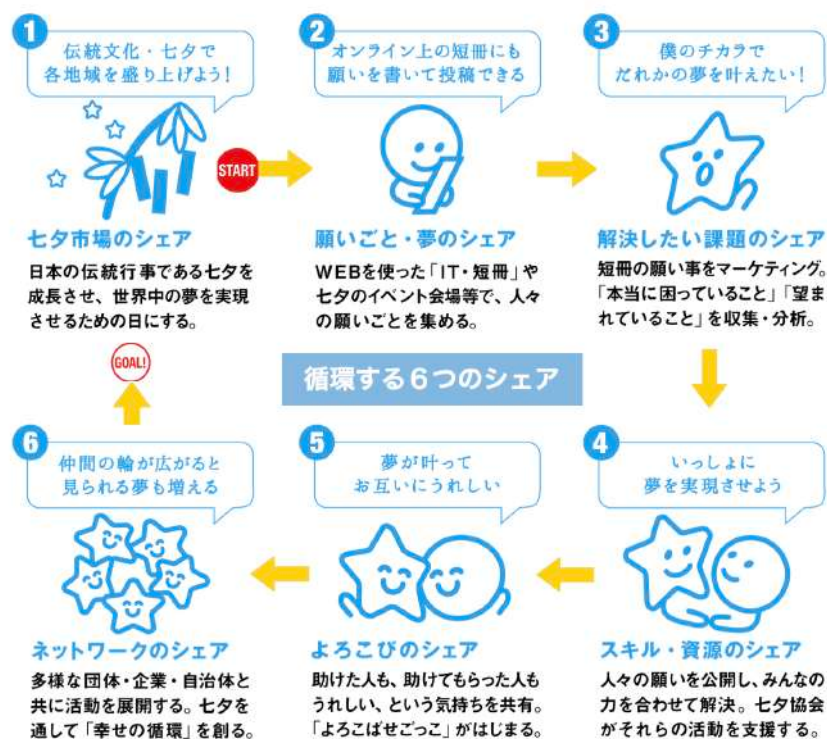


小暮 裕之（こぐれ・ひろゆき） — 理事

有明みんなクリニック 有明ガーデン院長。埼玉県春日部市出身、2003年獨協医科大学卒業後、総合病院国保旭中央病院、国立成育医療研究センターで小児科医を務める。2010年有明こどもクリニック有明院を開業し、2016年に豊洲院、2018年に勝どき院、2019年にフローレンス豊洲病児保育室、有明みんなクリニック田町芝浦院、2020年には有明みんなクリニック有明ガーデン院（有明こどもクリニック 有明院から移転）、有明ひふかクリニックを開業。「笑顔で安心して出産や子育てができる社会を創る」を理念として、東京湾岸地域で多院展開を行なっている。また、2019年は医療経営大学を開講、テレビ番組「未来をつくるこどもクリニック」のMCを務めるなど医療以外にも活躍の幅を広げている。将来の夢は、親子の教育に携わり、考える力を備えた人材を日本から輩出していく事。

七夕協会について

七夕協会が目指していること



七夕協会は「**みんなで世界をより良くする**」を理念に人々の幸せを追求し全世界・全生命の進歩発展の追求を目指す、非営利組織です。日本の伝統行事である七夕は、ひとりひとりの夢や悲しみを知り得る日であり、それをよろこびに変えようと動き出すはじまりの日でもあり、1年前の夢や悲しみを振り返る終わりの日でもあります。七夕を通して集まった夢や願いを叶え合い、**よろこばせごっこ**が循環する世界を目指して以下の活動を行なっております。

- 1 全国の七夕祭り・行事へ5つの支援 (企画・資金・物品・人材・集客支援)
- 2 七夕に関する各種イベント、チャリティーセミナー、講演会等の企画実施・支援
- 3 七夕の普及・発展のための情報提供サービス
- 4 七夕に関する会員コミュニティ・国際的な活動推進する事業
- 5 七夕に関する寄付サイトの企画・制作・運営
- 6 七夕で集めた「願いごと実現プロジェクト」企画実施および支援

『TANABATA DREAM AWARD 2020』について

開催趣旨



コロナ禍で先行きの見えない今、我々に必要なのは“未来を描く力”ではないでしょうか。人は、未来に夢を持つことで立ち上がることができ、元気を取り戻すことができます。

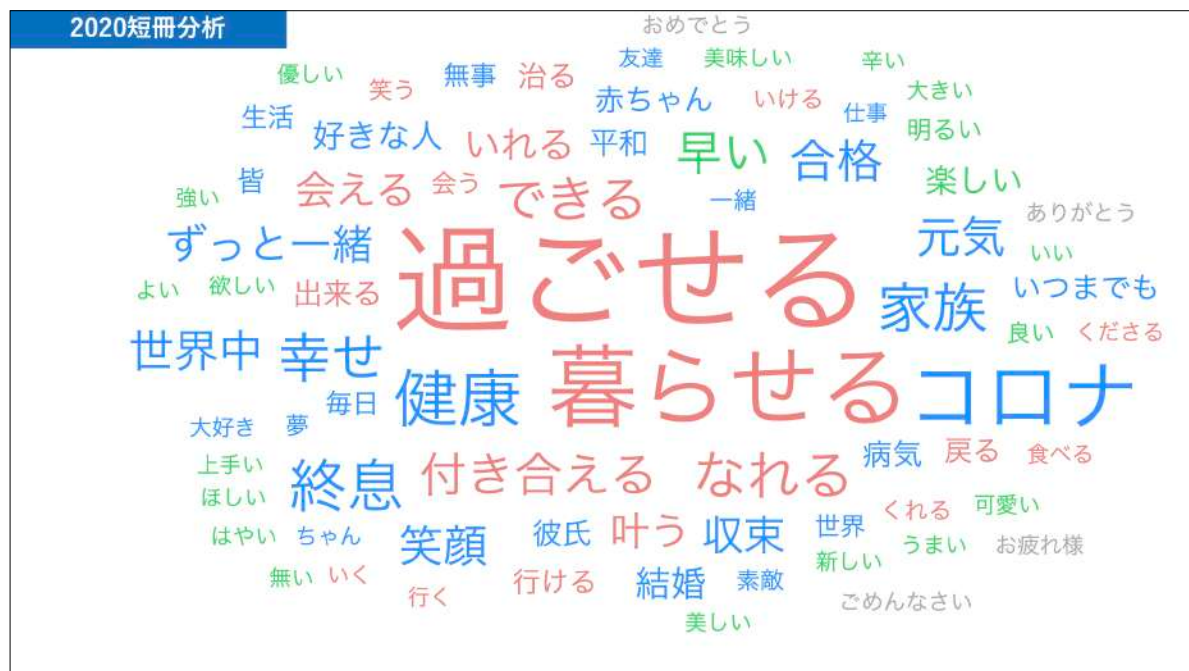
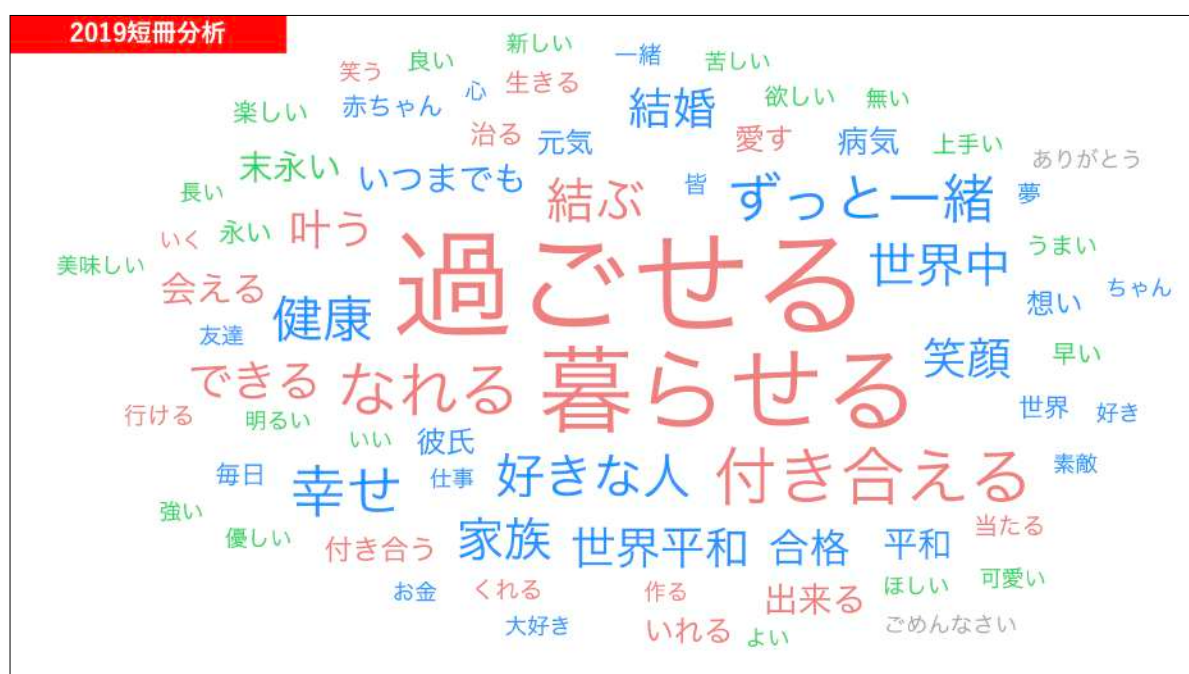
そこで、誰もが夢を描き続けられる社会の実現を目指す一般社団法人七夕協会は、人々の夢を応援する企業・団体と共に「TANABATA DREAM AWARD（七夕ドリーム・アワード）」を発足しました。

今後も、“夢を魅せてくれる”時の人を表彰すると共に、これからの時代に必要とされる、“学校や会社では教えてくれない夢の叶え方”をテーマにしたオンライントークイベントを開催しました。一人でも多くの方が夢を描く機会に、そして叶えるきっかけになれば幸いです。

『TANABATA DREAM AWARD 2020』について

調査結果① 短冊分析

七夕協会が2019年より実施している短冊分析データです。2019年、2020年それぞれの年に共通しているワードがある一方で、その年にしかないワードもあり、「その年がどんな年だったか」が示されています。



『TANABATA DREAM AWARD 2020』について

調査結果② #TANABATA トренд大賞（夢のキーワード）

2020年は、夢（自己実現欲求）より、健康（安全の欲求）が上位を占める年になり、コロナによって急変した非日常の世界から、今までの日常に戻ってほしいという願いごとが、とても多い傾向にありました。

#TANABATA トренд大賞 2019

1 幸せ	7 笑顔	14 病気
2 家族	8 元気	15 友達
3 結婚	9 彼氏	16 夢
4 健康	10 平和	17 心
5 好きな人	11 一緒	18 お金
6 世界	12 仕事	19 赤ちゃん
	13 合格	20 愛

#TANABATA トренд大賞 2020

1 幸せ	7 世界	14 皆
2 健康	8 結婚	15 無事
3 家族	9 合格	16 仕事
4 コロナ	10 終息	17 生活
5 元気	11 好きな人	18 赤ちゃん
6 笑顔	12 彼氏	19 病気
	13 一緒	20 長生き

01 「ネット短冊」に寄せられた、今年の夢キーワードを発表



●写真：左から 小暮裕之（七夕協会理事）、小林こず恵（七夕協会理事）、小磯卓也（七夕協会代表理事）、星山真理子（七夕協会理事）

今年の「夢」のキーワードは？

「TANABATA DREAM AWARD 2020」は、夢を魅せてくれる時の人を表彰するプロジェクト。旧暦の七夕である8月25日に合わせ、受賞者による夢のトークライブや様々な企画が催されました。

2020年は、新型コロナウイルスの影響により、全国各地の七夕祭りが次々と中止になり、みんなが夢や願いごとを描く機会が減ってしまいました。そんな中、一人でも多くの人が夢を描き続けられる社会を目指したいという思いから、当アワードが発足されました。

まずは、七夕協会代表理事による、七夕協会のご紹介に加え、2020年の「夢」のキーワードの発表。毎年行っている「ネット短冊」に寄せられた、夢や願い事から、キーワードを選定し、「昨年とはどんな違いが見られるのか」「2020年の願いごとにはどのような傾向があるのか」をご紹介しました。2020年の傾向としては、やはり

「コロナ」「健康」「終息」「無事」と言ったキーワードが多く目立ち、多くの人が、より人生や命の大切さについて考えたと推測されます。

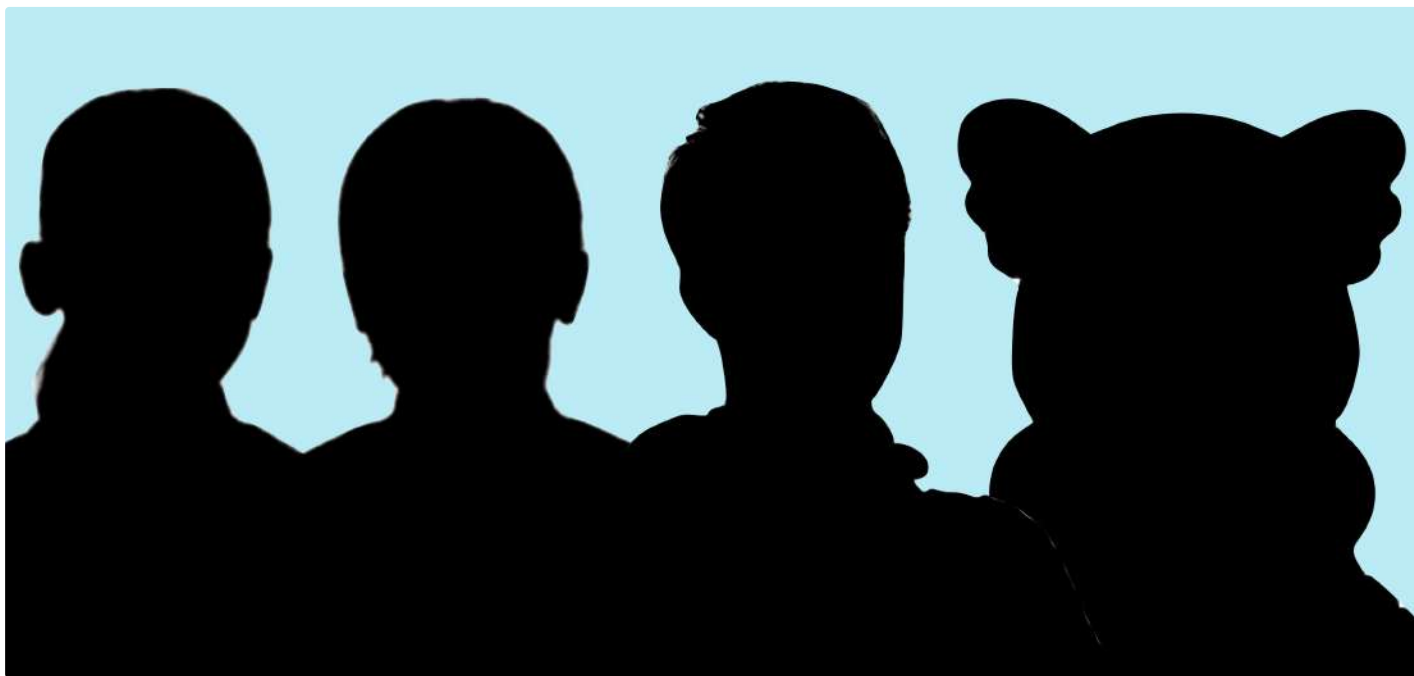
#TANABATA トレンド大賞 2020		
1 幸せ	7 世界	14 皆
2 健康	8 結婚	15 無事
3 家族	9 合格	16 仕事
4 コロナ	10 終息	17 生活
5 元気	11 好きな人	18 赤ちゃん
6 笑顔	12 彼氏	19 病気
	13 一緒	20 長生き

●調査対象：10～90代、調査方法：ネット短冊、調査期間：令和2年6月7日（日）～8月24日（月）、総回答数：2,500件以上

※ ネット短冊とは、夢や願い事を投稿すると、オンライン上で短冊ができあがるというもの



02 受賞者の発表！ 有名選手、国民的キャラクターからメッセージ



世界的アスリートが夢を叶えるために大切にしていること

続いては、「TANABATA DREAM AWARD 2020」受賞者の発表。この日、会場に来られなかった受賞者からはビデオメッセージが届きました。

まずはスポーツ部門 男子の部を受賞したのは、競泳選手・瀬戸大也さん。

瀬戸さんからは、「会場に行けなくてとても残念。今は、来年の東京オリンピックに向けて、コツコツ練習をして頑張っている。夢を叶えるために大切にしていることは“挑戦”。みなさんも挑戦する姿勢を持って、夢を叶えていきましょう」とメッセージが届きました。

同じくスポーツ部門 女性の部を受賞した、ANAアスリート社員であり、女子アイスホッケー選手の床亜矢可さん、床秦留可さんご姉妹。お二人から、夢を叶える上で大事にしていることについて語られました。

亜矢可さんからは「アイスホッケーがうまくなると信じて、100%の力で向き合うこと。一緒に夢に向かって頑張しましょう」、秦留可さんからは「夢が叶った時をイメージして、日々練習に取り組んでいる。ワクワクするようなことや楽しいことをイメージしてみてください」とエールが届きました。

キャラクター部門を受賞したのは、株式会社ロッテ「コアラのマーチ」のキャラクター・コアラのマーチくん。「とってもうれしい」という声が届きました。また、七夕協会では今年、コアラのマーチくんが夢を応援するプロジェクトを行い、日本や海外から1,500件を超える夢が集まりました。

※以下のリンクから、コアラのマーチくんの応援メッセージがご覧いただけます。

<https://shootingstar.or.jp/tanabata-lotte/>



03 総合部門受賞者は、ホスト界の帝王であるROLANDさん



ROLANDさん「転ぶって恥ずかしいことじゃない」

続いては、「ロボット部門」「総合部門」の発表です。両部門の受賞者は、当日会場にお越しいただき、視聴者へ夢と希望を与えるメッセージをいただきました。

ロボット部門を受賞したのは、家族型ロボット『LOVOT（らぼっと）』です。『LOVOT』は、ロボットなのにまるで生命が宿ったかのように生き生きと動く、次世代の家族型ロボット。生みの親であるGROOVE X代表の林要さんとともにステージへ。林さんから、お礼とともに、視聴者へメッセージを寄せられました。

「今年2020年は、“ロボット”という言葉が生まれてから、ちょうど100年。人々はロボットと生活することをずっと夢見てきた。今年、LOVOTでそれを実現することができた。コロナ禍でLOVOTがいることで救われたという声を聞いたたび、嬉しくなる。そして、「辛い時こそいかにん夢を見るか」ということを、私たちは忘れてはいけな

い。今後、LOVOTのような日本発のロボット産業を世界に羽ばたかせたいと思っている」と熱い思いをお話いただきました。

そして、いよいよ七夕ドリームアワード・総合部門の発表。受賞者は、様々なシーンで活躍し、多くの人に夢と勇気を与えているROLANDさんです。

「幼少期に抱えていたサッカー選手になりたいという夢は叶わずに、屈辱と挫折を味わってきた人間。でも、歌舞伎町で帝王になりたいという2つ目の夢を叶えて、今ステージにいる。ありきたりな表現ですけど、挫折すること、転ぶことって恥ずかしいことではない。そこから立ち上がれないことが恥ずかしい。それを改めてお伝えしたい。もし壁にぶち当たったとしても、ROLANDですら、一回夢が叶わなかったんだと。強い気持ちで夢に向かって頑張っ欲しい」とエールが贈られました。



04 受賞者によるトークセッション！ 夢を叶えるためには



●写真：左から ROLANDさん、林要さん (LOVOT代表)

夢を叶えるのに一番大事なことは…？

続いて、受賞者であるROLANDさんと、LOVOTの生みの親である林さんによるトークセッションが行われました。

お二人の小さい頃の夢や苦労したことなど様々なことを伺いました。中でも、「夢を叶える上で一番大事なことはなんだと思いますか？」という質問に対し、お二人はこうに答えられました。

林さん「ほんとうに自分がやりたいことを見つけること、そして、今年できること、今日できることというようにその夢を小さく分解することが大切。夢は一人だけでは叶えられないんです。だからこそ周りの人たちに協力してもらう必要がある。そして、周りの人たちをワクワクさせられるのは、心の底から自分がそれをやりたいと思っているときだけ。だから自分が心底やりたいことを見つけるのは大切です。そして、その次に闘うべきは

不安です。その不安に打ち勝つために、プロセスを分解し、できることから始めるというのが大切」。

ROLANDさん「情熱を毎日燃やし続けること。湿った薪が燃えなくなってしまうのと同じで、「今日はいいかな」とか「面倒くさいな」という気持ちをいかに乾かして再び火をつけられるかが大切です。（「なぜROLANDさんは情熱を燃やし続けられるのか」という質問に対して）野心でも憧れでもなく、反骨心です。元々サッカー選手になることを目指していた僕は、同年代の選手がテレビで活躍する選手を見て、悔しいという気持ちが生まれ、嫌でも身体を動かし続けることができました」。

最後に、「辛いのは苦労が多いからではなく、夢を失っているから（林さん）」「夢は寝てみるものではなく、起きてみるもの（ROLANDさん）」というコメントをいただきました。



●写真：司会者の森通香さん

05 ローランドリーム賞の発表！一般公募から選ばれた夢とは



ROLANDさん「誰かの願いを叶えるって神さまの気持ちになれる」

続いては、ROLANDさんが夢を応援する「ローランドリーム賞」の発表。2020年7月より約1ヶ月間にわたり、夢・願いごとを募集しおよそ300通が集まりました。その中から8つの夢をROLANDさんが選出し、ステージで夢の発表とともに、応援コメントが寄せられました。

初めに発表されたのは「ホテルの社長に絶対なることです。」という夢。

ROLANDさんは『“なれますように”、“なれたらいいな”じゃなくて、“絶対なることです”と言い切っている夢は強い。僕も「いつかホスト界の帝王になりたい」じゃなくて、「ホスト界の帝王になる」と言っていた。その思いを大事にして頑張って欲しい』とコメント。

また、「いつかピアノリサイタルを開き、自分とたくさんの人が感動する音色を届けられますように」という夢については、「この夢には、『自分は才能がない』とい

うコメントが添えられていた。でも、才能がないことも才能なんです。才能があると、自分が悪いと思えず、「周りの見る目がないだけだ」と責任転嫁してしまう可能性もある。僕は、ホストの才能がない側だったので、お客様から心ない一言を言われた時にも「自分のあの言い回しがいけなかったのかな」と自分と向き合って考えられた。才能のない人間でよかったと思えた。才能がないことも一個の才能です。ぜひみんなに感動を与えられるピアニストになってください」。

今回、ROLANDさんには300通を超える応募の中から、応援したい8つの夢・願いごとをお選びいただきました。ローランドリーム賞について、ROLANDさんにこのようにコメントいただきました。「今回、ほんとうに様々な願いごとが寄せられて、自分にも誰かの夢が叶えられるんだと思うと、神さまってこういう気持ちなんだなと思いましたね」。



06 次世代を代表する12歳による「ゆめさくぶんスピーチ」



● 写真：大里菜桜さん

将来の夢はハリウッドスター！

七夕協会では、次世代の夢を応援する「ゆめさくぶん」プロジェクトを昨年より実施。この日は、弱冠12歳でありながら、地元である香川県高松市の「松盆栽」のPR活動をはじめ、モデルなど、様々なシーンで活躍されている大里菜桜さんに登壇いただき、次世代を代表して、ゆめさくぶんを発表してもらいました。

大里さんの夢は「ハリウッドスターになること」。そして、「故郷の松盆栽を世界に向けてPRすること」であると言います。夢を叶えるため、中国語、歌、演技など、様々な勉強をしているとのこと。

また、「周りの人に夢を聞かれ、ハリウッドスターになることだよと答えると、笑われることもある。でも、夢は信じている人のもとにしかやっこないと思っている。また言葉にすることで魔法になると信じている」とポジティブな想いも話してくれました。

そして、スピーチを終えた大里さんに、ROLANDさんから、バラの花が贈られました。「笑われるくらいスケールが大きい夢って素敵じゃないですか。人生の一先輩として応援しています」というROLANDさんのエールに対し、大里さんは「2、3年前の自分じゃぜったい想像できないことです。こうしてROLANDさんから薔薇の花をいただいたことが夢みたいです」と喜びの表情を見せてくれました。

こうして、約1時間半にわたる「TANABATA DREAM AWARD 2020」イベントは、多くの皆様にご視聴いただき、無事終了しました。皆様の夢や願いが叶いますよう、七夕協会一同、応援しております。

※イベントの様子は、以下のリンクからご視聴いただけます。

<https://youtu.be/UNNOaZWQXYQ>



あとがき

みんなが夢を描ける世界をめざして

まずはこのコロナ禍という大変な状況において、

『TANABATA DREAM AWARD 2020』に賛同し、協力してくださった企業・団体みなさま、そして縁あってこのレポートを読んでくださったみなさまに心より感謝申し上げます。

どんなにつらい状況でも、夢は一筋の光となります。

夢を描く力は、生きる力につながるのです。

そして、大切な人の夢を応援したり、応援されたりすることは、私たちに幸せな気持ちにもしてくれます。

なにもしなくても、

みんなが夢を描き、語り合い、応援し合い、

夢に向かってがんばれるのであれば

それがいちばんいいのですが、

七夕という行事がないとそういう機会がなかなかない世の中です。

コロナ禍においても七夕を、夢を思い出すきっかけを少しでも増やせればと

『TANABATA DREAM AWARD 2020』を立ち上げましたが、

主催の私たちもパワーをいただくことができ、間違いなかったと確信いたしました。

来年以降はアワードの部門を増やし、より多くの人から夢を叶える方法を伺ったり、コロナ禍を克服した暁には各地の七夕祭りと連携してより多くの願いごとを集めるなど、みんなが夢を描き、語り合い、応援し合うきっかけをますます増やしていきます。

そして、みんなから集めた夢を分析し、

多くの人を幸せにするために企業や団体ができることを考え

より良い世界を作ることにつなげていきたいと思っています。

みんなが幸せになるきっかけとしての七夕を、一緒に楽しんで育てていきましょう。

七夕協会代表理事 小磯卓也



一般社団法人七夕協会
<https://tanabata.org/>

